BUSINESS REPORT

第103期 報告書

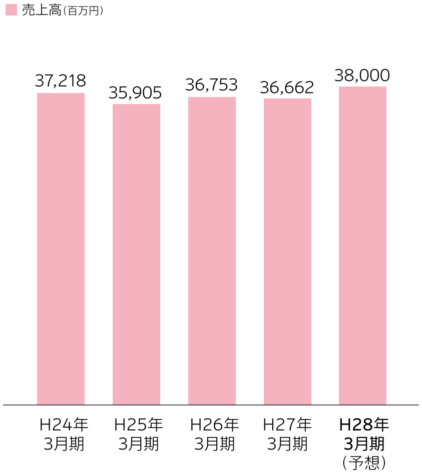
小松精練株式会社

株主の皆さまへ

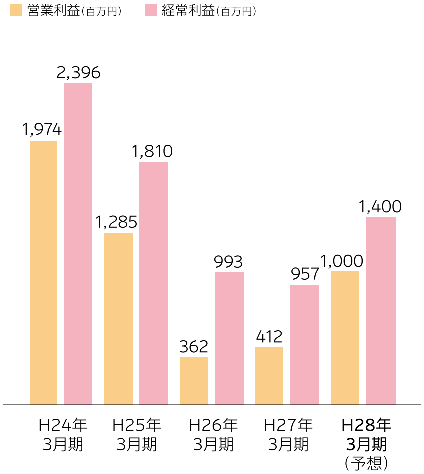
株主の皆さまには、平素から格別のご支援を賜わり、
厚く御礼申し上げます。
ここに小松精練株式会社の平成27年3月期
（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）の
業績についてご報告申し上げます。

財務ハイライト

売上高



営業利益・経常利益



　当連結会計年度におけるわが国経済は、政府の経済政策や日本銀行の金融政策等により、一部で設備投資増加や雇用・所得環境等の改善傾向が見られました。一方で、円安の進行に伴う原燃料の価格高騰をはじめ、諸物価の上昇や消費税率引き上げにより消費マインドの向上には至りませんでした。また、欧州では経済危機からの緩やかな回復の兆しがあるものの、新興国経済が鈍化傾向にあることから、全体として予断を許さない状況で推移しました。

　このような状況の中、当連結会計年度の売上高は36,662百万円（前期比0.2%減）となり、営業利益は412百万円（前期比13.7%増）、経常利益は957百万円（前期比3.7%減）、当期純利益は632百万円（前期比18.2%減）となりました。

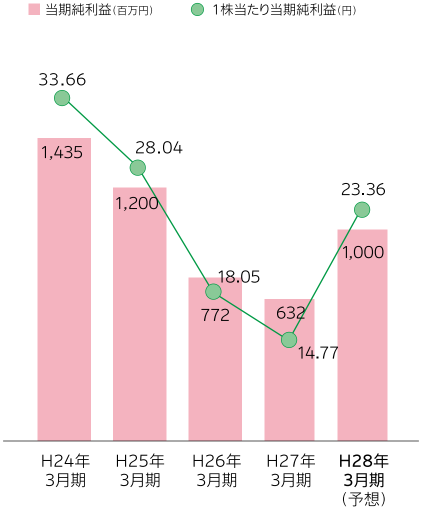
　この業績を踏まえ、当期の期末配当金につきましては、普通配当は1株当たり6円とさせていただき、中間配当金と合わせた年間配当金は1株当たり12円となります。

　今後におきましては、衣料・資材両分野において染色加工技術と高分子化学を高度に融合させた「独創的かつ世界的ファブリックメーカー」を目指し、より美しく、より健康に、より快適に、より安全に、より環境に配慮し、ファブリックを通して人々の生活を彩るための繊維素材の開発・製造・販売、及び関連する新規分野への開拓を通して社会貢献を図って参ります。

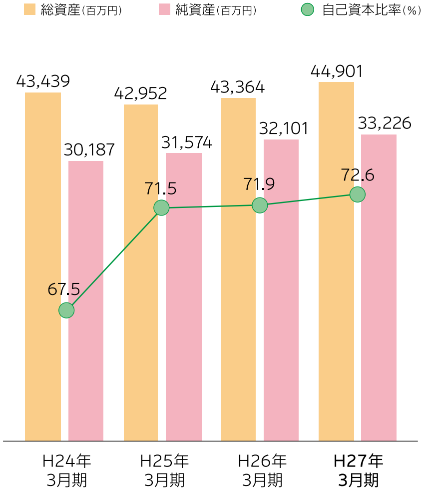
　株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜わりますよう、心からお願い申し上げます。

代表取締役社長　**池田哲夫**

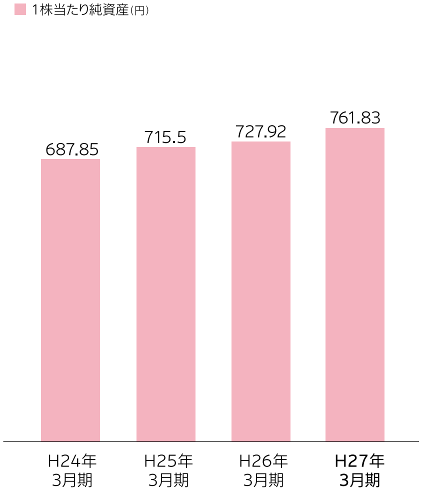
当期純利益・1株当たり当期純利益



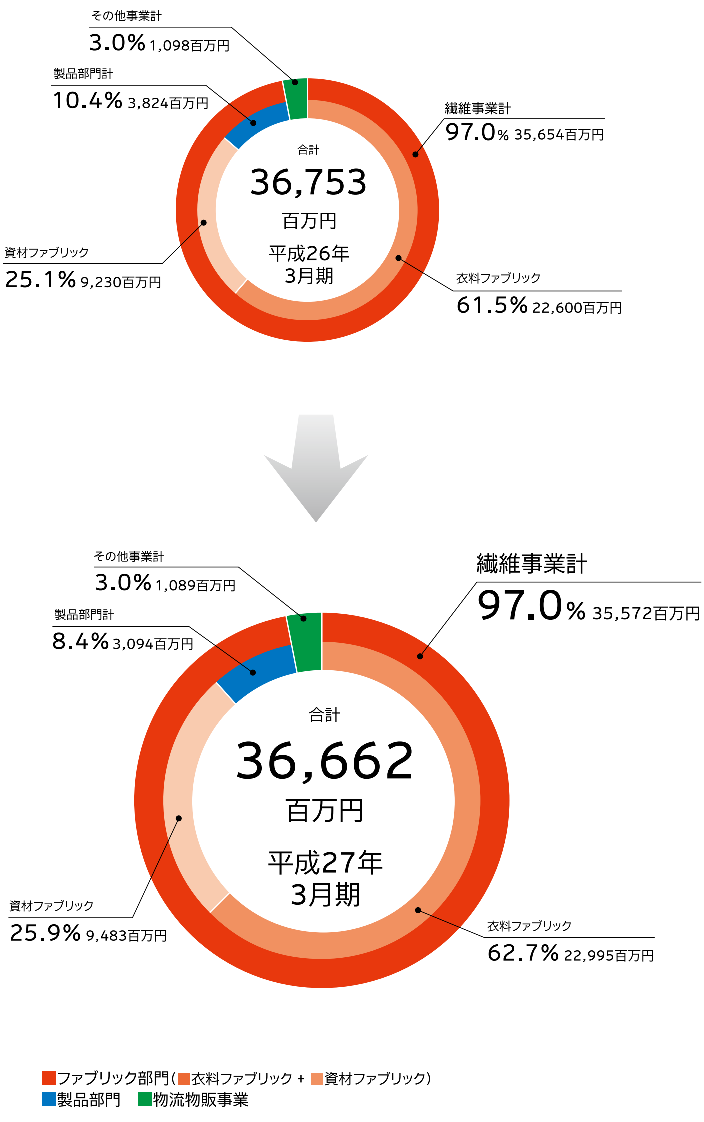
総資産・純資産・自己資本比率



1株当たり純資産



事業別売上状況 平成26年4月1日から平成27年3月31日まで



繊維事業

衣料ファブリック部門は、海外市場の欧州を中心に拡大を図り、ファッション市場に影響力のある欧州市場や民族衣装を中心とした中東市場が増加しました。また、スポーツ分野は苦戦しながらも一部で持ち直し増加しました。一方、国内ファッション市場は全般的に苦戦が強いられ、当部門全体で微増となりました。

資材ファブリック部門は、医療・福祉のメディカル分野が好調に拡大したものの、リビング分野及び生活関連資材分野が減少しました。また、環境共生素材の超微多孔スポンジ状セラミックス基盤「グリーンビズ」は、環境市場に対する積極的な認知活動を継続し、当部門全体は増加となりました。

製品部門は、不採算分野の事業縮小等により大幅な減少となりました。

以上の結果、当連結会計年度の当事業の売上高は35,572百万円(前期比0.2%減)となりました。

物流物販事業

当事業は前期比ほぼ同水準で推移し、当連結会計年度の売上高は1,089百万円(前期比0.8%減)となりました。

国内売上高

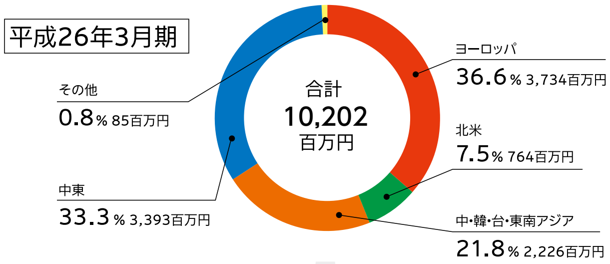
国内売上高につきましては、湿布剤等の機能性特殊ニット素材を中心とした資材ファブリック部門が順調に推移するも一部の国内向け衣料ファブリック部門が苦戦し、総じて減少となりました。結果、前期4.1%減の25,470百万円となりました。

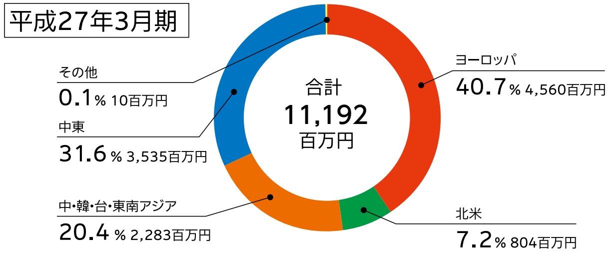
海外売上高

世界のファッション市場に影響力のある欧州市場を中心に、高機能・高感性素材が好調に推移し大幅に増加しました。また、民族衣装を中心とした中東市場も順調に増加しました。結果、9.7%増の11,192百万円となりました。

消費地別売上状況　平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

海外売上高の内訳





次期の見通し　（平成28年3月期）		前期比
売上高	38,000 百万円	3.6%増
営業利益	1,000 百万円	142.4%増
経常利益	1,400 百万円	46.3%増
当期純利益	1,000 百万円	58.2%増

次期の見通し

今後の経営環境については、景気の回復基調にあるものの、原燃料価格の高水準による影響や新興国経済の鈍化、低調な国内消費マインド等、引き続き厳しい状況であることが予想されます。

このような中、当社グループは“不易流行”をスローガンに製造改革を進めます。小ロット、短納期化及び高度化が進むお客様のご要望に応え、価格以上の価値を創り込むと共に、新しい価値のある商品開発の強化に取り組んで参ります。

①製造改革の推進

競争力のある商品開発を強化するため、小ロット、短納期化及び高度化する要望に対応する生産技術の向上や、人材の開発をはじめ、機械設備の省力化や生産ロスを排除するための取り組みを強化します。また、省エネ・省資源・低環境負荷を可能にする商品開発や生産技術を継続的に向上させ、低エネルギー社会の実現に向けた環境適応ビジネスの推進を強化します。

②先端ファブリックの開発・新規市場の開拓

グループ内や国内外の有力企業との垂直連携や産官学との戦略的連携、適地生産のための水平連携等、世界的視野で取り組んで参ります。また、美・健康・快適・安全・環境の５つのテーマを軸に、先端素材を用いた独自技術の開発とグローバル・マーケットに通用する先端ファブリックの開発を加速し、新規市場の開拓を図ります。

③海外市場の拡大

欧州ファッション市場の維持拡大を継続すると共に、スポーツ分野はもとより、非衣料分野などにおいても海外展示会や個展を開催する等、積極的に海外市場に対するブランディングを強化します。１１年目を迎えた中国蘇州での製造販売事業も中国国内市場の低迷は引き続きあるものの、新たな取組先との関係強化や付加価値商品の導入を継続的に行い成長を目指します。

これらの取り組みをグループ一丸となり推進する事により、平成28年3月期の業績を左記の通り見込んでいます。

メインパース

屋上

設計・施工
設計／株式会社隈研吾建築都市計画事務所
施工／清水建設株式会社

総面積等
総床面積／2,700㎡
屋上庭園面積／940㎡
ストランドロッド全長／12,000m（素線は7倍）

完成予定
平成27年11月

2014年
6月

エコ建材『グリーンビズ』と 世界初の炭素繊維ロッドによる耐震工法 隈研吾氏設計による アーカイブ棟（仮称）の建設を発表

6月20日に東京大学で開催した展示会の会場にて、当社が開発したエコ建材である超微多孔スポンジ状セラミックス基盤『グリーンビズ』と、耐震補強材に世界初の熱可塑性炭素繊維複合材料『カボコーマ・ストランドロッド』を用いて、アーカイブ棟（仮称）の建設を行うことを発表しました。これは当社の旧本社棟を世界的に著名な建築家隈研吾氏が設計のもと、抜本的に改築するもので、これまでにない新工法の耐震補強建築となります。

内部にはアーカイブを設け、技術と感性の歴史保全機能と同時に、マーケットに即した商品開発や知恵の創出、並びにブランド力の向上に役立たせる機能を持たせます。また、北陸の繊維産業の歴史を学び素材や技術を伝承する場とし、産業ツーリズムの思想で、産業と観光が融合する施設として旧本社棟を改築活用します。

2015年
3月

欧州複合材料展示会「JEC Europe 2015」へ初出展 世界に向け炭素繊維複合素材「CABKOMA」を提案

当社は、2015年3月10日（火）～12日（木）にフランス・パリで開催されたコンポジット（複合材）展示会「JEC ヨーロッパ 2015」に出展しました。「JEC ヨーロッパ 2015」は、1965年から毎年パリで開催され、今回で50回目を数え、出展社数は1,200社を超える世界最大のコンポジット展示会です。

当社は初出展となる本展示会において、熱可塑性炭素繊維複合材料「CABKOMA（カボコーマ）」を出展しました。建築構造物等の耐震補強材に使用される鉄材の代替として開発した“CABKOMAストランドロッド”並びに炭素繊維シートに熱可塑性樹脂を使用した“CABKOMAシート”や“CABKOMA TOWチップ”等を展示し、製品の軽量化や安全性の向上に貢献する最新の複合材料として提案しました。

当社ブースを訪れたお客様からは、出品した炭素繊維複合材の特長である熱を加えることで簡単に成型できるというメリットが高い評価を得ました。今回の展示会では海外の炭素繊維複合材の需要の高さを感じるとともに、今後の商品開発及び量産化に向け手応えを感じることができました。

当社出展ブース出店の様子

“CABKOMA シート”
“CABKOMA TOWチップ”を用いて
形成されたサンプル

14年7月
↓
15年3月

積極的に海外でのブランディングを強化 KOMATSUブランドが海外市場を席巻

小松精練は、グローバル・マーケットに通用する差別化商品の開発と市場セグメンテーションに基づいた商品戦略の推進により、国内外問わず、積極的な市場導入を図っています。

特に世界のファッション業界に対して影響力のある欧州市場については、攻めの姿勢を崩さず、積極的な投資を図っています。年２回フランス・パリで開催される世界最高峰の服飾見本市「プルミエール・ヴィジョン」をはじめ、ファッション分野だけでなくスポーツ分野及び非衣料分野の国際展示会へ参加しており、市場における当社の素材力・開発力は高い評価を得ています。一方で、アジア市場（中国・韓国）でも積極的に個展を開催し、海外での新規顧客開拓、並びに販路拡大を図っています。

海外展示会一覧

2014年	7月	パリ個展 2015-16 秋冬	フランス・パリ
2014年	9月	THE MUNICH FABRIC START 2015 秋冬	ドイツ・ミュンヘン
2014年	9月	ミラノ個展 2015 秋冬	イタリア・ミラノ
2014年	9月	ミラノウニカ 2015 秋冬	イタリア・ミラノ
2014年	9月	プルミエール・ヴィジョン 2015-16 秋冬	フランス・パリ
2014年	10月	上海個展 2015-16 秋冬	中国・上海
2014年	10月	韓国個展 2015秋冬	韓国・ソウル
2015年	2月	THE MUNICH FABRIC START 2016 春夏	ドイツ・ミュンヘン
2015年	2月	ミラノ個展 2016 春夏	イタリア・ミラノ
2015年	2月	ミラノウニカ 2016 春夏	イタリア・ミラノ
2015年	2月	ISPO MUNICH 2015	ドイツ・ミュンヘン
2015年	2月	プルミエール・ヴィジョン 2016 春夏	フランス・パリ
2015年	3月	JEC Europe 2015	フランス・パリ
2015年	3月	上海個展 2016 春夏	中国・上海
2015年	3月	韓国個展 2016 春夏	韓国・ソウル

※国内では3月に東京展を開催いたしております。

上海個展

ミラノ個展

韓国個展

パリ個展

プルミエール・ヴィジョン

greenbiz®

「グリーンビズ」を積極的に海外市場へ活用提案

「ミラノ万博」開幕
日本館にグリーンビズが採用

「2015年ミラノ国際博覧会」(略称「ミラノ万博」)が、2015年5月1日(金)～10月31日(土)の184日間、イタリア・ミラノで開催されています。2005年の「愛・地球博」、2010年の上海万博に続く、今世紀３度目の登録博覧会(大規模な万博)です。148カ国・国際機関が参加を表明(2015年1月現在)、会期中は約2,000万人の来場が想定されています。開催テーマは「地球に食料を、生命にエネルギーを(Feeding the Planet, Energy for Life) 」です。「食」をテーマとした、史上初めての万博です。

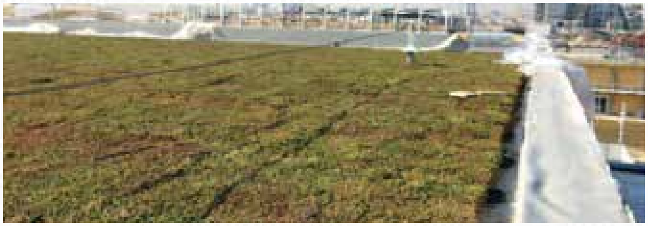
このミラノ万博の日本館において、小松精練が提供する屋上緑化基盤材「greenbiz Roof」、超保水性インターロッキングブロック「greenbiz Ground」が採用されています。ミラノ万博における導入を契機として、日本企業の技術力の訴求と環境に配慮したエコ建材greenbizの認知拡大を図って参ります。

ミラノ万博日本館イメージ図

■ 路面部

路面部にはgreenbiz Groundが敷設されております。

■ 屋上緑化


greenbiz Roofが敷設された日本館の屋上

■ 日本館での採用内容

greenbiz Ground

- greenbiz Ground(路面部)：650㎡

greenbiz Roof

- greenbiz Roof(屋上緑化)：500㎡

※green biz Roofは2015年5月に、国土交通省の新技術情報システム「NETIS」に登録されております。

新商品 天然成分配合の環境配慮型合繊素材、新「ONIBEGIE（オニベジ）」発表 ポリエステルも加わり更なる進化

2015年３月に東京で開催した自社総合展示会において、新商品ポリエステル素材版『ONIBEGIE(オニベジ)』を発表しました。

昨年６月に、当社は、合繊には染まらないとされていた天然成分の付着を可能にする染色技術を確立し環境配慮型合繊素材「ONIBEGIE（オニベジ）」を発表しました。「ONIBEGIE」は、国産玉ねぎ外皮の成分（ケルセチン）の持つ諸特性に着目し開発した素材です。販売開始以降、「ONIBEGIE」の染色技術は高い評価を得る一方で、ナイロン素材に限定された技術でした。

この度、顧客ニーズに応えるべく、技術的に最も困難であったポリエステル素材に対する付着を実現させ、新たな「ONIBEGIE」として販売を開始しました。これまでのナイロン素材に加え、汎用性の高いポリエステル素材にもオニベジ独特の優しい色合いの表現が可能になり、さらなる多用途への展開が期待できます。

■「オニベジ」の素材特長

- 23種類の天然成分を用いて36色のカラーを展開しています。
- 配合する天然成分の情報をログインすることでカラーコンセプトを明確にしています。
- 多種多様なファブリックでの表現が可能です。
- 化学染料だけでは表現できないナチュラル感があります。
- 小松精練が保有する高次加工技術との組み合わせが可能です。
- 配合される天然成分により、抗菌防臭・消臭の特性を持っています。
- 天然成分の活用及び染色加工時における排出液の緩和など、環境に配慮した素材です。

CSR 羽ばたけ未来の科学者たち 「子どもマイスターウィーク」に協賛

小松精練は、地域貢献活動の一環として平成20年から毎年、能美市の子ども達を対象とした「子どもマイスターウィーク」に協賛しております。

子どもマイスターウィークは、産官学が連携し児童・生徒の観察、実験、工作、調査など幅広い研究や学習に対する興味や関心を高め、創造性豊かな人間形成を図ることを目的に実施されたものです。期間中、小松精練は自社素材が使われている最新の商品を展示するほか、技術開発本部が中心となり子どもたちに繊維の不思議や科学の面白さを伝える「科学教室」を行うなど、全面的に協力しました。会場には、能美市内の小中学校11校から総数764点もの作品が集まりました。

小松精練は勉強やスポーツを一生懸命がんばる子供たちが、夢と希望を持って成長できるような地域貢献活動にこれからも積極的に取り組んで行きます。

■ グループ社員・家族による海岸及び運動公園の清掃

小松精練グループは企業理念の一つである「地球・社会に貢献する」活動の一環として、毎年、夏に本社工場近隣の海岸清掃、秋には地元能美市内の運動公園の清掃を実施しています。

石川の恵まれた自然保護と日頃の企業活動にご理解いただいている地域の方への感謝の気持を込め、毎年、1,000名以上のグループ社員及びその家族が参加し清掃を実施しています。これからも当社グループは事業を進めるだけでなく、企業市民としてさまざまな活動を通して社会貢献を目指していきます。

連結貸借対照表の要旨

平成27年3月31日現在

単位:百万円

●資産の部

科目	当期	前期	増減
流動資産	22,959	25,292	△ 2,333
現金及び預金	4,074	7,383	△ 3,309
受取手形及び売掛金	7,660	7,230	429
有価証券	4,410	4,820	△ 410
たな卸資産	6,002	5,260	741
繰延税金資産	355	253	102
その他	500	389	110
貸倒引当金	△ 44	△ 45	1
固定資産	21,942	18,071	3,870
有形固定資産	7,586	7,828	△ 242
建物及び構築物	2,969	3,113	△ 143
機械装置及び運搬具	1,975	2,041	△ 65
土地	2,238	2,328	△ 89
建設仮勘定	82	31	50
その他	319	312	7
無形固定資産	312	268	44
投資その他の資産	14,044	9,975	4,068
長期預金	2,000	1,000	1,000
投資有価証券	11,180	7,302	3,878
繰延税金資産	169	790	△ 620
その他	696	896	△ 199
貸倒引当金	△ 2	△ 13	10
資産合計	44,901	43,364	1,537

●負債の部

科目	当期	前期	増減
流動負債	7,392	7,255	137
支払手形及び買掛金	5,380	5,482	△ 101
短期借入金	185	250	△ 65
未払法人税等	152	71	80
賞与引当金	307	283	24
その他	1,367	1,167	199
固定負債	4,283	4,007	275
退職給付に係る負債	3,649	3,323	325
役員退職慰労引当金	479	503	△ 23
環境対策引当金	—	11	△ 11
その他	153	169	△ 15
負債合計	11,675	11,262	413

●純資産の部

科目	当期	前期	増減
株主資本	30,142	30,328	△ 186
資本金	4,680	4,680	—
資本剰余金	4,671	4,720	△ 49
利益剰余金	20,930	21,066	△ 136
自己株式	△ 139	△ 138	△ 1
その他の包括利益累計額	2,470	833	1,636
その他有価証券評価差額金	1,964	552	1,412
為替換算調整勘定	483	261	222
退職給付に係る調整累計額	22	20	1
少数株主持分	613	938	△ 325
純資産合計	33,226	32,101	1,124
負債・純資産合計	44,901	43,364	1,537

連結損益計算書の要旨

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

単位:百万円

科目	当期	前期	増減
売上高	36,662	36,753	△ 91
売上原価	29,832	29,772	59
売上総利益	6,830	6,981	△ 151
販売費及び一般管理費	6,417	6,618	△ 200
営業利益	412	362	49
営業外収益	582	639	△ 56
受取利息	40	39	0
受取配当金	113	105	8
為替差益	48	91	△ 42
持分法による投資利益	235	230	5
その他	144	173	△ 28
営業外費用	37	8	29
支払利息	4	2	2
その他	32	6	26
経常利益	957	993	△ 36
特別利益	10	60	△ 50
固定資産売却益	10	2	7
投資有価証券売却益	—	56	△ 56
その他	—	1	△ 1
特別損失	72	126	△ 54
固定資産売却損	6	0	6
固定資産除却損	53	9	43
その他	12	117	△ 104
税金等調整前当期純利益	894	927	△ 32
法人税、住民税及び事業税	286	337	△ 50
法人税等調整額	21	△ 28	49
少数株主損益調整前当期純利益	586	617	△ 31
少数株主利益	△ 45	△ 154	109
当期純利益	632	772	△ 140

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

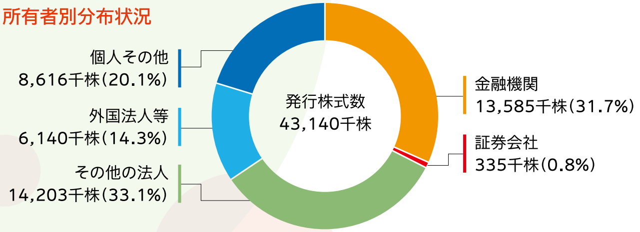
単位:百万円

科目	当期	前期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	527	1,961	△ 1,433
税金等調整前当期純利益	894	927	△ 32
減価償却費	1,221	1,294	△ 72
引当金の増減額(減少:△)	△ 8	△ 7	△ 0
退職給付に係る負債の増減額(減少:△)	△ 66	△ 63	△ 2
売上債権の増減額(増加:△)	△ 388	630	△ 1,019
仕入債務の増減額(減少:△)	△ 124	262	△ 387
たな卸資産の増減額(増加:△)	△ 658	△ 210	△ 447
法人税等の支払・還付(支払:△)	△ 211	△ 669	457
その他	△ 130	△ 202	△ 71
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 222	△ 1,460	1,237
固定資産の取得による支出	△ 881	△ 982	101
固定資産の売却による収入	130	2	127
定期預金の預入・払戻(預入:△)	△1,371	△ 61	△ 1,309
有価証券の取得・償還(取得:△)	3,520	△ 880	4,400
投資有価証券の取得・売却(取得:△)	△1,616	263	△ 1,879
その他	△ 4	△ 197	△ 201
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 901	△ 629	△ 271
短期借入金の純増減額(減少:△)	△ 84	△ 24	△ 59
配当金の支払額	△ 446	△ 600	153
その他	△ 370	△ 5	△ 365
現金及び現金同等物に係る換算差額	27	76	△ 48
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△ 568	△ 51	△ 517
現金及び現金同等物の期首残高	7,253	7,304	△ 51
現金及び現金同等物の期末残高	6,684	7,253	△ 568

株式情報

発行済株式数	株主数
43,140,999株	3,076名

所有者別分布状況



大株主（上位10名）

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
THE SFP VALUE REALIZATION MASTER FUND LIMITED	3,771	8.79
東レ株式会社	3,749	8.74
株式会社北國銀行	2,113	4.93
小松精練松栄会	1,564	3.65
日本生命保険相互会社	1,284	2.99
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,268	2.96
株式会社北陸銀行	1,263	2.95
三菱商事株式会社	1,250	2.91
三井住友信託銀行株式会社	1,230	2.87
株式会社クラレ	1,090	2.54

(注)持株比率は自己株式を控除して計算しております。

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会・期末配当　3月31日 中間配当　9月30日
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	0120-782-031
URL	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
1単元の株式の数	100株
公告の方法	電子公告(当社ウェブサイトに掲載) http://www.komatsuseiren.co.jp/investor/index.html ※事故やその他やむを得ない事由が生じた場合、日本経済新聞に掲載して行ないます。
上場証券取引所	東京証券取引所　市場第一部

住所変更、配当金受取方法の指定・変更、単元未満株式の買取・買増等について

株主様が口座を開設されている証券会社等にお申し出ください。また、証券会社に口座を開設されていない株主様は、特別口座の口座管理機関の上記電話照会先にお申し出ください。なお、単元未満株式の買取・買増の当社にかかる手数料はいずれも無料となっております。

会社情報

役員　平成27年6月26日現在

代表取締役会長	中山　賢一
代表取締役社長	池田　哲夫
常務取締役	中山　大輔
常務取締役	尾野寺　賢
取締役	奥谷　晃宏
取締役	向　潤一郎
取締役	首藤　和彦
取締役	天雲　一裕
取締役	北野　均
監査役	髙木　泰治
監査役	阪根　勇
監査役	根上　健正

グループ会社

小松精練(蘇州)有限公司	中国・江蘇省蘇州市
株式会社コマクソン	石川県能美市
株式会社コマツインターリンク	石川県能美市
株式会社パッゾ	東京都渋谷区

会社の概況

商号	小松精練株式会社
設立年月日	昭和18年10月8日
資本金	46億8,042万円
本社	〒929-0124 石川県能美市浜町ヌ167番地
本社工場	同上
美川工場	石川県白山市鹿島町1号7番地1
大阪営業所	大阪府大阪市北区梅田2丁目2番22号 (ハービスＥＮＴオフィスタワー8階)
東京営業所	東京都中央区銀座3丁目9番7号 (トレランス銀座ビルディング8階)
北陸営業所	石川県能美市浜町ヌ167番地 (小松精練株式会社 本社２階)
上海事務所	中国・上海市延安西路2200号 (上海国際貿易センター1913号)

小松精練株式会社
www.komatsuseiren.co.jp/

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

VEGETABLE OIL INK